

重量物載荷時の床の仕様について

弊社のフリーフロアの床上に重量物を置く場合は、下記の文章をよくお読みの上、適切に対応いただけますよう、お願い申し上げます。

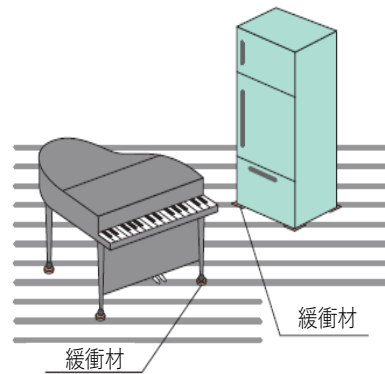
●フリーフロアを施工後に重量物を設置したい場合

フリーフロアを施工し直すことも可能ですが、費用や時間がかかるため、ピアノや本棚などの重量物を設置する時に床面を保護するための緩衝材を敷いて荷重を分散させてください。

〔注意〕

フリーフロアの耐荷重性能としては、建築基準法の基準値を大きく上まわる値で設計され、安全性を十分確保していますが、家具等の重量物を設置した場合には床が少し沈む場合があります。

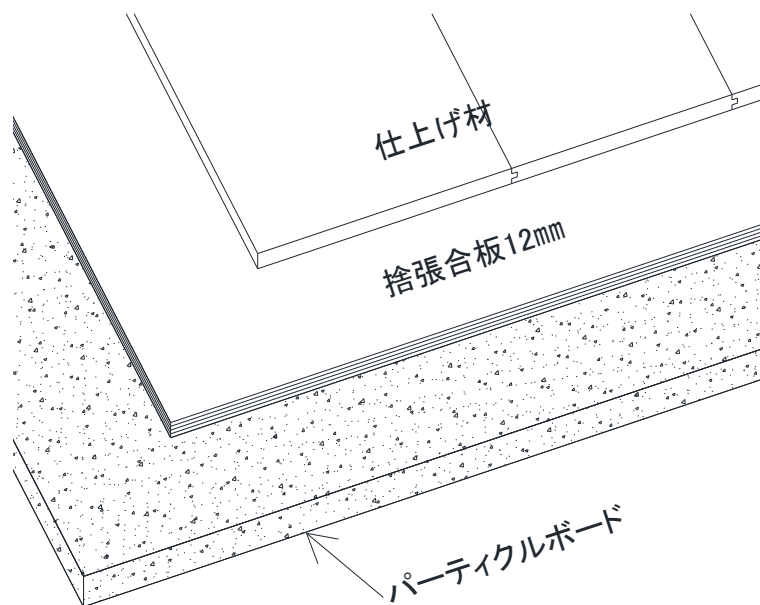
(床の沈みは重量物を除去すれば、ほぼ元通りに復元いたします。)



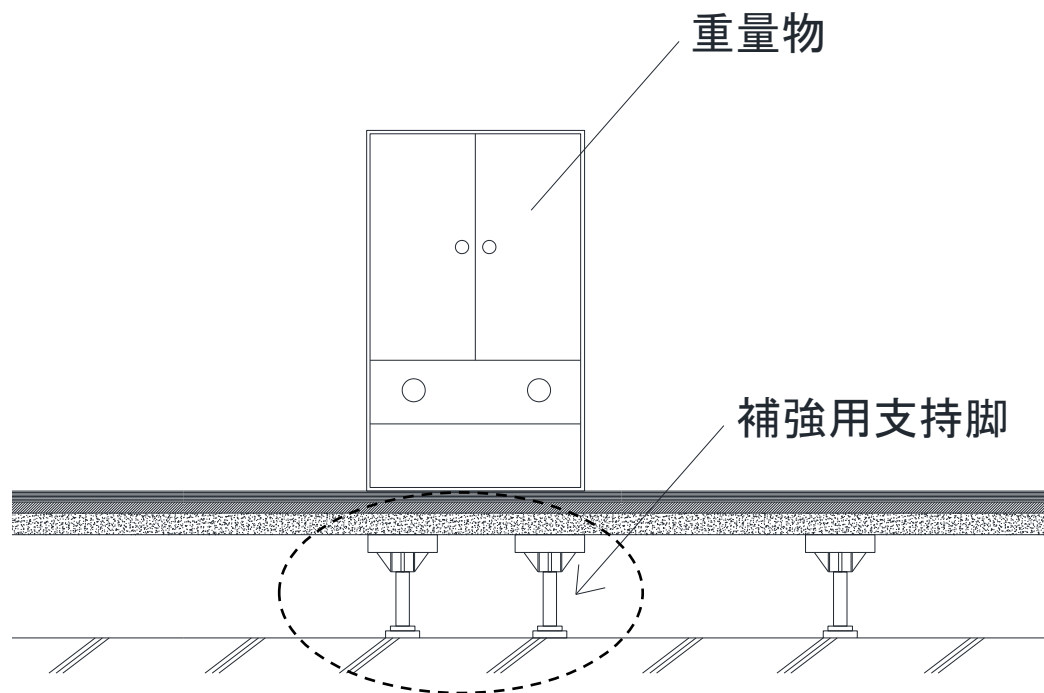
●フリーフロアを施工前に重量物を設置する場所が決まっている場合

フリーフロアを施工前にピアノや本棚などの重量物を置く場所や重さ、寸法が分かっている場合であれば、下記の①と②を行うようにしてください。

①重量物を置く場合は、仕上げ材とパーティクルボードの間に捨張合板12mmを施工してください。



②重量物の下には、補強用支持脚を設置してください。



〔注意〕

重量物の重量や寸法によって補強用支持脚の設置する本数が異なる場合やフリーフロアの床高さによっては補強用支持脚の種類が異なる場合がございます。

詳しくは、最寄りの営業所までお問い合わせください。